

知財人財育成研究分科会セッション

◆ IoT時代を迎えた今、長期の次世代知財人財育成を考える◆

知財人財育成10年を省察し、10年を見通す(その2)
～次世代産業生態系を主導できる知財マネジメント人財について考える～

【セッションの内容】

「IoT」が注目を集めています。IoTを起点として、欧米を中心にインダストリー4.0(ドイツ政府)やインダストリアル・インターネット(GE)などの動きが加速しているからです。サイバーフィジカルシステムを介したマスカスタマイゼーションが始まるのも間違いないようです。そこでは、多様な意味での「製造業のサービス化」など、産業生態系全体を揺るがす地殻変動が起こると考えてよいでしょう。

この動きの中で知財分野では何が起きるのでしょうか?例えば、長期的には「非権利化知財」(例えばデータ等)の重要性が増し、中期的にはグローバルな市場の中で「N×1×N」構造の主導権争いが激烈化していきます。そこで「標準化」あるいは「事業起点型サイクルモデル」を軸としたビジネスモデルを可能ならしめる「オープン&クローズ戦略」等の新しい知財マネジメントがますます求められことになるでしょう。

このような基盤的問題を俯瞰しつつ、他方で直近現実の問題にも対応せざるを得ない知財関係者はますます難しい状況に入っていくように見えます。特に知財マネジメントを担う人財育成は長期間を必要とします。今から次世代・次次世代を育成していかなければなりません。

そこで、今回の弊分科会では、俯瞰的に産業生態系の変動を見据えつつ、長期的観点から知財人材育成について考えていきます。

【パネリスト】(五十音順)

菊地康久(サッポロホールディングス株式会社 グループ技術知財戦略部長)

立本博文(筑波大学 ビジネス科学研究科 准教授)

戸田裕二(日立製作所 知的財産本部 副本部長)

峯木英治(株式会社ブリヂストン 知的財産本部 本部長)

<モデレータ>妹尾堅一郎(NPO 法人産学連携推進機構 理事長、本分科会担当理事)

★総合司会進行 中村正之(DNP テクノリサーチエキスパート(本分科会幹事長))

【パネリスト・モデレータ略歴】

菊地康久(キクチ ヤスヒサ) サッポロホールディングス(株)グループ技術知財戦略部長

昭和59(1984)年3月 東京理科大学理学研究科修士課程修了

平成14年10月 サッポロビール(株)価値創造フロンティア研究所企画総務GL

平成20年9月 サッポロビール(株)生産技術本部 技術知財戦略室長

平成24年9月 サッポロビール(株)生産技術本部 副本部長 兼 技術知財戦略室長

平成25年9月 サッポロビール(株)生産技術本部 副本部長

平成26年3月 サッポロホールディングス(株)グループ技術知財戦略部長

平成25年6月～ 一般社団法人 日本食品・バイオ知的財産権センター 理事

知財人財育成研究分科会セッション

◆ IoT時代を迎えた今、長期の次世代知財人財育成を考える◆

立本博文(タツモト ヒロフミ) 筑波大学 ビジネス科学研究科 准教授

東京大学大学院経済学研究科(博士課程中退)、東京大学先端科学技術研究センター助手、東京大学ものづくり経営研究センター助教、兵庫県立大学経営学部准教授、MIT 客員研究員を経て現職。専門はビジネス・エコシステムやプラットフォーム・ビジネス。ICT 業界をはじめとするグローバル企業のオープン&クローズ戦略を研究している。

日本知財学会理事、国際ビジネス研究学会誌編集委員、組織学会会員、多国籍企業研究学会会員。筑波大学若手教員奨励賞(2014年度)。著書に『オープン・イノベーション・システム』(晃洋書房、2011年)、論文に「オープン・イノベーションとビジネス・エコシステム」『組織科学』45(2), 60-73, 2011)他多数。

戸田裕二(株式会社 日立製作所 知的財産本部 副本部長 兼 知財ビジネス本部長)

1982年(株)日立製作所入社、1989年弁理士登録、1999年米国ロースクール Franklin Pierce Law Center (現 University of New Hampshire School of Law)修士、(株)日立技術情報サービス取締役社長を経て、(株)日立製作所知的財産本部副本部長(現在)。

産業構造審議会臨時委員、総合科学技術会議知的財産戦略専門調査会 WG 委員、日本知的財産協会常務理事、電子情報技術産業協会(JEITA)法務・知的財産権委員会副委員長、東京理科大学専門職大学院知的財産専攻非常勤講師、名古屋工業大学大学院産業戦略工学専攻非常勤講師などを歴任。

峯木英治(ミネキ エイジ) (株式会社ブリヂストン 知的財産本部長)

1980(昭和55)年:東京大学 理学部 物理学科卒業

1980(昭和55)年:株式会社ブリヂストン入社

2000(平成12)年:TB(トラック・バス用)タイヤ開発部長

2001(平成13)年:OR(建設車両用)タイヤ開発部長

2003(平成15)年:ブリヂストンアメリカ アクロン技術センター 生産財タイヤ開発担当 VP

2008(平成20)年:株式会社ブリヂストン AG・CV(農業用・バイアス)タイヤ開発部長

2009(平成21)年:知的財産第2部長

2010(平成22)年:現職

妹尾堅一郎(せのお けんいちろう) 特定非営利活動法人産学連携推進機構 理事長

一橋大学大学院商学研究科 MBA 客員教授、日本知財学会理事(本分科会担当)

慶應義塾大学経済学部卒業後、富士写真フイルム株式会社勤務を経て、英国国立ランカスター大学経営大学院博士課程満期退学。産業能率大学助教授、慶應義塾大学大学院教授、東京大学先端科学技術研究センター特任教授、九州大学客員教授等を歴任して現職。現在も東京大学や一橋大学で大学院生を指導。CIEC(コンピュータ利用教育学会)前会長。研究・技術計画学会副会長。内閣知的財産戦略本部専門調査会前会長。現在も農水省技術会議議員ほか、多くの省庁委員や大手企業役員を兼務。ビジネスモデルと知財マネジメントに関する研究と教育を続ける。著訳書多数。平成20年度 産業財産権制度関係功労者表彰 経済産業大臣表彰。